

RD-3

メダカの肝臓からの total RNA分離

【プロトコル

1.5 ml マイクロチューブ

← LRT (2-ME 添加済み)*1:400 µl
← メダカ肝臓:1片(RNAlater で保存)

ホモジナイズ:ライセートを 15 回処理 *2

T

ボルテックスで混ぜる:15秒(最大回転数)

15,000 rpm、3分、10℃

ボルテックスで混ぜる:15秒(最大回転数)

15,000 rpm、3分、10℃

上清(350 μ l)を新しい 1.5 ml エッペンチューブに移す *3

→ SRT : 175 μl

ボルテックスで混ぜる:15秒(最大回転数) 軽くスピンダウン(数秒)

→ > 99 % エタノール:175 µl

ボルテックスで混ぜる:1分(最大回転数) 軽くスピンダウン(数秒)



QuickGene のカートリッジへ全量添加



使用装置の分離プロトコル参照 QuickGene-Mini480*4



Total RNA 回収(回収液量:50 µl)

*1 1 mlの LRT 当たり 10 µlの 2-ME を加える。

*2 組織の粒子が見えなくなるまで。

*3 沈澱を吸い込まないように注意してください。

*4 本事例は旧機種で取得したデータ も含まれます。 その他QuickGeneシリーズでもこ のプロトコルをご参考頂けます。

▋結果

電気泳動図 データなし

Total RNA の収量

肝臓の量	収量(µg)
1片	約 20.0

■ タンパク質の混入: A260/280

肝臓の量	A260/280
1片	2.1

■ カオトロピック塩の混入: A260/230

データなし

その他

データなし

▋共通プロトコルサンプル

メダカのヒレ

